

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00068)

事務事業名称		文化・芸術の振興					款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	073
現担当課名		文化・交流課			係名			文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	069	
上位施策No・施策名											30 文化・芸術の振興		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	実行計画事業					目標	05	施策	30	計画事業	01	02	03	主要事業(区政経営報告書掲載事業)	
	平成28年度担当課名	文化・交流課											事業評価区分	一般		
	対象	区民、文化・芸術団体					根拠法令等	(1)		杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書						
								(2)		杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になります。					活動指標	指標名(1)		日本フィルとの友好提携事業の実施回数						
							指標名(2)		後援・共催名義使用承認事業実施件数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用(企画展や区民貸出し)等を中心とした文化・芸術事業を実施する。区民や団体が行う文化・芸術活動の支援、後援、共催等を行う。					成果指標	指標名(1)		日本フィルとの友好提携事業の参加者数							
							指標名(2)		後援・共催により実施した事業の参加者数							
	区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
				実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	40	38	38	38	38	38	100.0						
	活動指標(2)	2	件	52	60	66	60	59	60	98.3						
	成果指標(1)	3	人	13,622	14,000	13,385	14,000	13,048	14,000	93.2						
	成果指標(2)	4	人	252,498	210,000	255,758	230,000	234,684	230,000	102.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	58,243	64,946	57,613	67,459	60,532	67,044	平成28年度予算執行率(%)	89.7					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	17,579	18,614	17,898	18,750	18,320	19,004	杉並公会堂利用料負担件数減による残文化・芸術活動助成事業補助金の審査結果による残						
	職員数	常勤職員数	8	人	3.32	3.00	3.27	3.00	3.18	3.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	29,249	26,430	28,603	26,241	27,227	25,686						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	8,490	8,490	8,805	8,805	8,913	8,913						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	95,982	99,866	95,021	102,505	96,672	101,643							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,399,550	2,628,053	2,500,553	2,697,500	2,544,000	2,674,816							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	95,982	99,866	95,021	102,505	96,672	101,643							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	073
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		日本フィルとの友好提携事業	38	件	16,794
		杉並公会堂利用料の支出（延べ日数）	62	日	12,264
		文化・芸術活動への助成	21	件	7,633
		アーカイブ事業	3	件	7,613
		その他（情報紙の発行ほか）			16,228
(2) 事業実績	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、日本フィル、杉並公会堂、区の3者による実行委員会形式の演奏会「日本フィル杉並公会堂シリーズ」を4回、そのほか、公開リハーサルを4回、学校への出張音楽教室を10回開催するなど計38回の演奏会等を実施しました。</p> <p>文化・芸術活動への助成では、企画提案事業1件、大会等参加支援事業1件を含む21件に対して助成を行いました。また、杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動の軌跡を、区の貴重な文化財産として記録・保存し、後世に伝えることを目的としたアーカイブ事業では、3作品を制作しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査(H20) 地域文化の振興施策 評価できる=7.9% 要望が高い=6.3%</p> <p>区民意向調査(H28) 地域文化の振興施策（文化・芸術の振興） 評価できる=10.1% 要望が高い=7.4%</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、杉並公会堂におけるコンサートや区役所ロビーコンサートなどの提携事業を行いました。特にロビーコンサートは、事業が定着してきたこともあり毎回多くの観客で賑わっていました。</p> <p>日本の「古典」について、子どもたちが気楽に参加し、体験できる事業として「こども伝統芸能おもしろ体験」を実施しました。28年度は「浪曲」及び「太神楽」の公演を行い「親子共々楽しめた。」「機会があったらまた参加したい。」などの感想をいただきました。</p> <p>アーカイブ事業では映像をユーチューブ上に掲載するよう変更しました。これにより区公式ホームページを経由することなく閲覧が可能となり、多くの方に映像をご覧いただいています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に一人でも多くの方が参加し、大会をきっかけにした成果を未来につなげていくためには、様々な文化プログラムを支援していく必要があります。</p> <p>また、このような中、個々に行われる文化プログラムに大きな方向性を持たせ、新しい価値観や感動を生み出していくためには「サポーター」の存在が欠かせません。すぎなみ地域大学にて「アートサポーター講座」を開講し、新しい価値観や感動を生み出していくことができる人材の育成に取り組んでいきます。</p>			
評価と課題	<p>文化・芸術活動助成事業を通して、区民や区内に拠点を持つ団体等が行う多様な文化活動や創造的な芸術活動を支援しました。特に、企画提案助成事業では、「美術鑑賞教室」を行っている団体への助成により、子どもたちの想像力や思考力を育む機会を創出することができました。</p> <p>また、日本フィル友好提携事業として杉並公会堂におけるコンサートや区役所ロビーコンサートを実施するなど、多くの区民に優れた文化・芸術に触れることができる機会を提供することができました。</p> <p>今後は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化プログラムの支援を更に充実させていくことが課題と捉えています。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成28年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に一人でも多くの方が参加し、大会をきっかけにした成果（レガシー）を未来につなげるため、杉並区としてどのような文化プログラムを支援していくかについて、文化・芸術振興審議会にて議論を進めました。平成29年度は、この議論を受け、文化・芸術活動助成事業の企画提案事業に新たなテーマを設けるなど、レガシーの創出に向け具体的な文化プログラム支援に取り組んでいきます。</p> <p>また、区民が文化・芸術に親しむことができる機会の創出を目指し、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業や古典の日に係る事業等を引き続き実施していくとともに、文化・芸術活動に関する情報の収集・発信を効果的に行うため、文化・芸術情報紙「コミュかる」の積極的な活用に取り組んでいきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00073)

事務事業名称 杉並芸術会館の維持管理			款 03	項 01	目 03	事業 003	整理番号 078				
現担当課名 文化・交流課		係名 文化振興担当係		連絡先電話番号 3782		昨年度整理番号 074					
上位施策No・施策名 30 文化・芸術の振興						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成15年度									
	平成28年度担当課名	文化・交流課		事業評価区分 一般							
	対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立杉並芸術会館条例 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図ります。区民との協働により施設を運営し、地域の賑わいの創出など、地域の振興を図ります。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数=稼働可能数 芸術文化普及振興事業の実施延べ回数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を企画・企画する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	ホール利用率 ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数+稼働可能数 芸術文化普及振興事業への参加者数 公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標(1)	1	回	1,977	2,010	2,015	2,010	1,990	2,010	99.0	
	活動指標(2)	2	回	530	550	511	550	478	550	86.9	
	成果指標(1)	3	%	77	80	85	80	87	80	108.8	
	成果指標(2)	4	人	70,000	80,000	74,000	80,000	60,000	80,000	75.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	280,020	287,664	282,049	334,297	327,980	307,579	平成28年度 予算執行率(%)	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	263,848	264,321	264,300	303,962	303,777	286,551		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.94	1.50	1.73	1.50	1.59	1.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,091	13,215	15,132	13,121	13,614	12,843	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	297,111	300,879	297,181	347,418	341,594	320,422		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	150,284	149,691	147,484	172,845	171,655	159,414		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	10,500	15,765	10,247	15,279	9,167	9,500	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	900	900	900	500	500	500		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	11,400	16,665	11,147	15,779	9,667	10,000		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	285,711	284,214	286,034	331,639	331,927	310,422		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	078	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		管理運営委託（指定管理者）	1	館	301,070	
		芸術監督報酬の支出				4,200
		運営懇談会開催	3	回		338
		施設管理				22,338
		その他（地域協議会開催ほか）				34
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>指定管理制度により、芸術監督の監修のもと年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、区民等への施設の貸出業務や保守管理業務等、施設の維持運営を行いました。芸術文化普及振興事業の充実並びに施設の適正な運営及び管理を図ることを目的として、運営懇談会を開催し、これまでの実施・運営状況について広く意見を求めました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>高円寺会館改築後の施設（杉並芸術会館）に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにしました。施設の運営に関しPFI方式も検討されましたが、指定管理者制度を導入することになりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>小劇場（座・高円寺1）や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール（座・高円寺2）、阿波おどり利用を優先した阿波おどりホール等を有し、多くの人々が集い、新しい時代の個性的な芸術文化施設として、地域住民や区内他地域、文化関係者から高い関心と期待が持たれています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>座・高円寺2、阿波おどりホールともに年々利用率が上がってきており、地域住民や文化関係者からの高いニーズが伺えます。引き続き、多くの人々が集う、個性的な芸術文化施設として、地域に根差した活動に取り組んでいきます。また、平成30年度には、芸術監督が中心となり国立台湾戯曲学院による京劇の公演を杉並芸術会館（座・高円寺）で開催するなど、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、杉並の文化芸術を広く国内外へ発信していく中心としての役割も担っていきます。</p>				
評価と課題		<p>指定管理者が持つネットワークを活用し、幅広いラインナップの主催事業を行うことで、区内のみならず区外からも人が集まり、劇場として高い評価を得ています。これまでの活動が実を結び、総合戦略の業績評価指標の基となっている調査では、高円寺地域以外では知名度が低かった杉並芸術会館（座・高円寺）の認知率が60%（前年比+7%）と大きく向上しています。一方、「来館者の高円寺地域での買物率」は57%と前年比-2%であり、28年度に取り組んだフリーマガジンの発行増が、買物率には反映されていない結果となりました。ターゲット層の分析等を行い、より効果的な配布を行っていくことが課題と捉えています。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	対象外				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地域の文化拠点として本施設ならではの良質で多彩な事業を提供していくため、引き続き、国の「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」補助金や「宝くじ助成金」を活用していきます。また、台湾との文化芸術交流の一環として、平成30年度には国立台湾戯曲学院による京劇公演を行うなど、相互の芸術交流による異文化理解・国際理解に取り組むと共に、地域特有のコンテンツを広く国内外に発信し、まちの賑わいや地域の活性化に繋げていきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00075)

事務事業名称		杉並公会堂(PFI事業)				款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	080		
現担当課名		文化・交流課		係名		文化振興担当係		連絡先電話番号		3782		昨年度整理番号		076			
上位施策No・施策名										30 文化・芸術の振興		予算事業区分		投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成18年度															
	平成28年度担当課名	文化・交流課				事業評価区分		施設維持管理									
	対象	区民、文化・芸術団体				根拠法令等	(1)		民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律								
							(2)		杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていきます。				活動指標	指標名(1)		自主事業実施回数								
						指標名(2)		ホール・スタジオ等の利用件数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。公演など自主事業を行うほか、区民が気軽にご利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を行う。				成果指標	指標名(1)											
						指標名(2)											
					指標説明												
区分	単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
		実績	計画	実績	計画	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	回	37	34	33	43	43	37	100.0							
	活動指標(2)	2	件	23,445	25,000	23,916	25,000	24,223	25,000	96.9							
	成果指標(1)	3															
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	926,076	944,318	943,888	871,884	871,064	805,213	平成28年度 予算執行率(%)	99.9						
	(内)投資的経費等	6	千円	926,076	944,318	943,888	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	925,665	944,318	943,888	871,884	871,064	805,213								
	職員数	常勤職員数	8	人	0.55	0.50	0.55	0.50	0.53	0.50							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,846	4,405	4,811	4,374	4,538	4,281							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	930,922	948,723	948,699	876,258	875,602	809,494								
	単位当たりコスト(14÷6÷1)	15	円	130,973	129,559	145,788	20,378,093	20,362,837	21,878,216								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	930,922	948,723	948,699	876,258	875,602	809,494								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	080	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設サービス購入		2	回	442,772
		維持管理・運営サービス購入		4	回	427,258
		その他（事業連絡会費ほか）				1,034
	(2) 事業実績	PFI事業として杉並公会堂施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支払いました。 また、杉並公会堂開館10周年を記念し「ベートーヴェン交響曲ツィクルス」を行ったほか、区、日本フィル及び公会堂の三者による実行委員会方式の協働事業である日本フィル杉並公会堂シリーズを4回行うなど、計43回の自主公演を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	平成23年度に杉並区文化協会が解散して以降、区の中心的な文化事業の担い手として、共催事業を含む自主事業を28年度も43回開催するなど、引き続き積極的な運営を行っています。 28年度は、杉並公会堂開館10周年を記念した公演が好評を博し多くの方に足を運んでいただくことができました。また、杉並公会堂が「シリーズ初放送『ウルトラマン誕生』の舞台となった地」であることを広く杉並区内外に発信し、後世にそのゆかりを伝えていくため、杉並公会堂に記念プレートの設置を行うなど、まちの賑わい創出にも取り組みました。 引き続き、多くの方に足を運んでいただくことのできるプログラムの提供や環境の整備に取り組んでいきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					